

2021年度第4回理事会報告

開催日時:2021年12月4日(土) 10:00 ~ 12:25

開催場所:一般社団法人日本社会福祉学会事務局(Zoomによるオンライン開催)

I. 会長挨拶

定刻となり、木原活信会長より挨拶があった。

II. 理事会開会宣言(欠席理事の確認)

出席者全員がオンライン参加によるWEB会議の開催に際して、音声に問題なく、出席者が一堂に会するのと同等の意思表示が互いにできる状態にあり、議事進行に支障がないことを確認した。

定款第42条に基づいて木原会長が議長となり、出席理事および欠席理事を確認した。定款第43条に規定されている要件を充足したため、「2021年度第4回理事会」を開催するとの宣言があった。

なお、定款第47条に則り、議事録署名人として木原会長、秋元監事、和気副会長を選出した。

III. 報告事項-I

12. 研究支援委員会からの報告

若手研究者ネットワーク「CS-NET」の立ち上げに向けた進捗状況および役割分担等について、オブザーバーとして参加している宮崎理研究支援委員より、配付資料に基づいて説明があった。また、保正理事より、ニーズ調査の分析およびリレーエッセイの掲載状況等について、配付資料に基づき報告があった。

IV. 審議事項

第1号議案 入会審査

総務担当木下理事より別冊資料に基づき説明があった。審議の結果、20名全員の入会が満場一致で承認された。

第2号議案 2022年度業務委託契約について

総務担当木下理事より配付資料に基づき説明があった。

2022年度業務委託契約書について、2021年度からの変更点を確認した。また、別途2022年度より運用を開始する長期会員制度対応の業務委託見積書を確認した。

審議の結果、2022年度業務委託契約が満場一致で承認された。

第3号議案 第8期役員候補者選挙管理委員の委嘱について

総務担当木下理事より、配付資料に基づき第8期役員候補者選挙管理委員会を設置するとの説

明があった。

「一般社団法人日本社会福祉学会役員候補者選出規則」第4条に基づいて、担当理事として湯澤理事、委員として正会員より4名の推薦があり、審議の結果、満場一致で承認された。

第4号議案 研究支援委員の追加委嘱について

研究支援委員会担当の保正理事より、若手研究者ネットワーク「CS-NET」の運用に関して、今後の担当者交代を見据えて、追加で会員2名に委員委嘱をする旨の提議があった。

審議の結果、満場一致で承認された。

第5号議案 地域ブロック運営のための個人情報の取扱いについて

総務担当木下理事より、配付資料に基づき説明があった。

学会運営のための個人情報の取扱いについて確認し、またプライバシーポリシーを改正して次回総会で報告することが提議され、審議の結果、満場一致で承認された。

第6号議案 コンビニ決済の導入について

総務担当木下理事より、配付資料に基づき説明があった。

昨年度の理事会にて2022年度より年会費の支払い方法にコンビニ決済を導入することが決議されたが、導入時期を1年延期して手数料負担等について改めて検討することが提議され、審議した結果、満場一致で承認された。

第7号議案 継続審議案件

・学会賞審査委員会に関する継続案件について

学会賞審査委員会に関する継続案件の確認をした。

・第70回秋季大会の記念行事について

次年度の第70回秋季大会での記念行事について、アーカイブ化推進委員会と共同して取り組むこととなった。

第8号議案 その他

特になし。

V. 報告事項－II

1. 2021年度会員動向

総務担当木下理事より、2021年度の会員動向について配付資料に基づき報告があった。

2. 2022年度事業計画案および予算案の提出について

総務担当木下理事より2022年度事業計画書・予算案の提出依頼があった。

3. 2021年度期中監査報告

秋元監事より、11月25日に行われた2021年度期中監査について配付資料に基づき報告があった。

4. 第7期代議員選挙管理委員会からの報告

第7期代議員選挙管理委員会担当の湯澤理事より、今回の投票率は全国が18.2%、地域が18.3%で、当選確定者が155名であったとの報告があった。

5. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当岩崎理事より、各行事の準備状況等について配付資料に基づき報告があり、その後、行事ごとにそれぞれの担当理事から詳細な説明があった。

6. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当柴田理事より、機関誌『社会福祉学』の論文投稿受付・審査および編集状況について、配付資料に基づき報告があった。

7. 国際学術交流促進委員会からの報告

和気副会長より、中国社会学福祉研究専門委員会年次総会が10月9日-10日開催から12月12日開催へと延期となったとの報告があった。本会より会員1名が自由研究発表を行う予定である。

8. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当岩井理事より、学会賞審査対象図書のおすすめについて配付資料に基づき報告があった。

9. 研究倫理委員会からの報告

研究倫理委員会担当倉田理事より、現在進行中の調査案件はないとの報告があった。

10. 広報委員会からの報告

広報委員会担当伊藤理事より、学会ニュースおよび学会ホームページの多言語翻訳について配付資料に基づき報告があった。

11. アーカイブ化推進委員会からの報告

アーカイブ化推進委員会担当空閑理事より、学会事務局で保管していた古い写真や大会要旨集の収集・整理等について配付資料に基づき報告があった。

12. 研究支援委員会からの報告

前述の通り。

13. 学会のあり方検討会からの報告

室田理事より配付資料に基づいて、主に学会の財政および会員の確保を中心に協議を重ねていくとの報告があった。

14. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック：12月18日に研究大会およびシンポジウムを開催予定である。
- ・東北地域ブロック：東北地域ブロック60周年記念事業として記念誌を発刊し、関係各所に送付した。
11月6日に研究大会を『東北における社会福祉の過去・現在・未来』と題してオンライン開催した。
- ・関東地域ブロック：研究大会を2022年3月13日（日）に開催する。昨年設置した関東地域ブロック独自の奨励賞の審査中であり、1月には受賞者を決定する予定である。
- ・中部地域ブロック：報告事項は特になし。
- ・関西地域ブロック：第48回若手研究者・院生情報交換会「研究の進め方とその方法」を11月20日に開催し、現在は第49回の開催に向けて準備をしている。年次大会および総会を2022年3月13日に開催予定である。
- ・中国四国地域ブロック：第18回フォーラムのオンライン開催準備を進めており、2022年2月4日にリハーサルを実施する。
- ・九州地域ブロック：2023年度の研究大会開催校が決定した。機関誌『九州社会福祉学』の編集作業を行っており、現在、チェックリストの作成等について検討をしている。

15. その他（後援依頼、関連団体からの報告、他）

・後援（協賛）依頼について

総務担当木下理事より、過年度の実績があることから、2件の後援依頼に承諾したとの報告があった。

・関連団体からの報告

1) 日本社会福祉系学会連合

室田理事より、6月27日に開催された日本学術会議公開シンポジウムの報告を、社会福祉系学会連合ニュース（2021年10月号）に掲載したとの報告があった。

2) ソーシャルケアサービス研究協議会

木下理事より外部から組織対応に関する問い合わせがあったことについて報告があり、和気副会長および保正理事より補足説明があった。

3) 社会政策関連学会協議会

木下理事より、11月20日にシンポジウム「修論・博論を振り返って」がオンライン開催されたとの報告があった。

4) 社会学系コンソーシアム

木下理事より、2022年1月29日に評議員会を開催し、同日の午後にはシンポジウムを開催するとの報告があった。

5) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会:GEAHSS(ギース)

保正理事より、9月18日に運営委員会が開催され、活動・決算報告、2回目の実態調査の実施準備および2022年3月に開催するシンポジウムについて協議したとの報告があった。

6) 人文社会系学協会連合連絡会

木下理事より、日本学術会議による団体等を対象としたアンケートへの回答案について、加盟団体に確認があったとの報告があった。

7) 日本学術会議

和気副会長より、12月2日-3日に開催された第183回総会の報告があった。

議長は、議事終了を告げ、12時25分に理事会を解散した。

以上